



大相撲で八百長!!!!

小学校4～6年を過ごした三軒茶屋小学校で、男子は体育の時間によく相撲をやった。当時小柄だった私は押し相撲では大きい子とは勝負にならなかった。でも、組み付けば外掛けしたり、足を取ったり、投げられた瞬間投げ返すことができた。すると、相手が先に地面についたりして、2、3割は勝ち星を得た。「チビでも勝てる」相撲にはそんな面白さがあった。

しかし、この程、野球賭博事件の捜査の過程で、携帯メールに八百長の記録が見つかったと云われてがっかりした。子供の頃、体格の違いがあってもぶつかり合った楽しさがあったから、大相撲も面白く見る事が出来た。それが

「八百長」では、興味が薄れる。

相撲協会が13人に事情を聞いたところ、一部の者は八百長を認めた。でも何故「13人」なのか？このニュースを聞いて、慌てて携帯メールや、通話記録を消した者もいたのではないかと相撲協会全体を調べ直すなど、もっと広い範囲で徹底的に究明しなければ、疑惑は晴れないだろう。

親方が絶対的な権力を握る部屋。その親方で構成される相撲協会。こうした封建的な土壌がこの問題の裏に隠れているのではないかとこうした部屋制度も根本から見直す必要があると思うのですが、皆さんはどう思われますか？



白馬岩岳スキー場

第5クワッドリフト

白馬岩岳と云うが、国土地理院の地図では岩蔵山とあり、これが元々の字だったらしい。白馬岩岳スキー場は標高一二八九m。ロープウェイを含めて八本のリフトが山頂に向かっていて頂上までゴンドラで一気に入ることが出来る。

山頂のレストハウスにいと、それらのリフトの滑走コースを往き来する人々が絶えない。

絵のリフトはファミリー向けのゲレンデのリフトで、次々とスキーヤー、ボーダーが上がってくる。

スノーシューを抱え、ブナの森を歩く人もいる。

黄色の上着、黄色の線のはいった青いズボンのレンタルウェアの集団は、高校生。若者らしい笑い声が聞こえる。